

第1回世界子ども水フォーラムから 第2回世界子ども水フォーラムまでの経緯

1. 第1回世界子ども水フォーラム –第3回世界水フォーラムの主要セッションの一つとして開催–

【開催日】 平成15年3月17日から3月22日

【場 所】 京都・滋賀・大阪

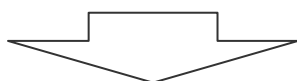
【主 催】 世界子ども水フォーラム組織委員会
(共同委員長：安藤忠雄 東京大学教授、
キャロル・ベラミー ユニセフ事務局長)

【参加者】 年齢11歳から18歳まで、32カ国109名
(うち日本から50名)

【概 要】 「家庭における水の確保」、「学校環境での水と衛生」、「水にまつわる危機」、「水の多様な使い方—自然・遊び・文化」の4つのテーマについて、子どもたちの立案で「子ども水宣言」が取りまとめられた。



※世界子ども水フォーラムで、世界で抱える水問題の大きさと価値観の違いにショックを受けた日本の参加した子どもたちから、国内の子どもたちと情報交流・意見交換をしてみたいと要望が多数寄せられた。



2. 世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 広島

【開催日】 平成15年10月11日から10月13日

【場 所】 広島県太田川上流の加計町

【主 催】 世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 広島実行委員会
(委員長：平岡敬 太田川たんけん協会理事長・元広島市長)

【参加者】 54人の中学生・高校生の子供たちと11人のファシリテーター

【概 要】 世界子ども水フォーラムでの「子ども水宣言」を引継ぎ、国内での普及・啓発、子どもたちのネットワークづくりを目的として、子どもたちが企画段階から参画し、フォローアップ大会が開催された。6つのテーマの分科会を経て、「水じゃけん広島！宣言」が取りまとめられた。

3. 世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 宮城

【開催日】 平成16年7月30日から8月1日

【場 所】 宮城県栗原郡花山村

【主 催】 世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 宮城実行委員会
(委員長：新川達郎 東北流域会議代表幹事・同志社大学教授)

【参加者】 69人の中学生・高校生と10人のファシリテーター

【概 要】 フォローアップ広島に引き続き、国内での普及・啓発、子どもたちのネットワークづくりを目的として、8つのテーマの分科会からなるフォローアップ大会が開催された。

4. 世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 東京

- 【開催日】 平成17年9月23日～9月25日
- 【場 所】 東京都渋谷区青山 こどもの城 他
- 【主 催】 世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 東京実行委員会
(委員長：岡島成行 大妻女子大学教授)
- 【参加者】 53人の中学生・高校生と
9人のファシリテーターほか
- 【概 要】 メキシコで日本から世界に発信するテーマの議論、派遣候補者の選定、子どもたちのネットワークづくりを目的して、8つのテーマの分科会からなるフォローアップ大会が開催された。また、メキシコ派遣候補者15名を選定。



5. 第2回世界子ども水フォーラムに向けた勉強会

- 【開催日】 第1回 平成17年11月19日から11月20日
第2回 平成18年1月6日から1月8日
第3回 平成18年2月4日から2月5日
第4回 平成18年3月14日（予定）
- 【場 所】 財団法人 河川環境管理財団
- 【主 催】 世界子ども水フォーラムⅡ派遣委員会
- 【参加者】 フォローアップ in 東京大会での選抜者15名
- 【概 要】 子どもたちが活動している Local Actions からメキシコで発表する内容の検討及び発表練習、派遣者の選抜を目的として勉強会を実施。日本から発信するテーマとして4つを検討し、派遣者7名を選抜。

